

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	子どもと地域				授業形態	講義			
科目コード	750043	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	宮内 孝							ICT活 用	○
授業概要	子どもは社会に適応するために必要な知識・技能などを家庭や学校だけでなく、地域社会において獲得しています。特に、地域には同世代に加えて、多様な年齢層の人たちと接する機会があり、そこで子どもたちは様々な社会経験を積み重ね、社会性や公共性を獲得しています。 授業では次の3つの取り組みを行います。第1に、子どもの成長を促す「社会教育」の役割や実践について学びます。第2に、地域社会で活躍する人たちの活動実践を基に、子どもが豊かに育つための取り組みやその成果について学びます。第3に、第1・第2の取り組みを通して、学生として取り組む／関与することができる地域での取り組みとその教育効果について学びます。 以上の取り組みを通して、授業では、地域社会における子どもの成長や、地域・学校・家庭教育の役割について学ぶことを目的としています。								
関連する科目	子ども支援地域活動Ⅰ・Ⅱ、キャリア教育、教育と社会								
授業の進め方 と方法	毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。 授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。また、子どもとの肯定的な人間関係を構築するためのスキルを習得するワークショップも毎回取り入れます。 調べ学習、プレゼンにおいては、ICTを活用して学びが深まるようにします。								
授業計画 【第1回】	1. オリエンテーション 社会教育と生涯学習、家庭学習、学校教育などの子どもを取り巻く教育の概観について学びます。 子どもと肯定的な人間関係を構築するためのスキルの必要性和その内容について学びます。								
授業計画 【第2回】	2. 子どもが育つ社会① 学校教育と社会教育の違いなどの取組みについて考え、探求課題を設定します。								
授業計画 【第3回】	3. 子どもが育つ社会② 子どもの成長を支える様々な取組について議論をしながら、探求課題の解決に取り組みます。 子どもの成長を支えるために地域で活躍している方(青空ラボ・子育て支援センター)から活動の状況を聞きながら、課題解決に取り組めます。								
授業計画 【第4回】	4. 子どもが育つ社会③ 子どもの成長を支える様々な取組についての探求課題について議論をします。 子どもの成長を支えるために地域で活躍している方(地域総合型スポーツクラブ)から活動の状況を聞きながら、課題解決に取り組めます。								
授業計画 【第5回】	5. 子どもが育つ社会④ 子どもの成長を支える様々な取組についての探求課題について議論をします。 子どもの成長を支えるために地域で活躍している方(土曜教室)から活動の状況を聞きながら、課題解決に取り組めます。								
授業計画 【第6回】	6. 子どもが育つ社会⑤ 子どもの成長を支える様々な取組についての探求課題について議論をします。 子どもの成長を支えるために地域で活躍している方(一般企業)から活動の状況を聞きながら、課題解決に取り組めます。								
授業計画 【第7回】	7. 子どもが育つ社会⑥ 子どもの成長を支えるための行政の取組(社会福祉施設)を訪問して、探求課題解決に取り組めます。								
授業計画 【第8回】	8. 子どもを支援する取組み 探求課題の学びを基に、学生として取り組める子どもを支援する取組について議論します。 議論したことをもとに、中間報告書としてまとめます。								
授業計画 【第9回】	9. 子どもを支援する取組み⑦ 子どもの成長を支えるための行政の取組(都城市 児童福祉支援)から活動上を聞きながら、探求課題解決に取り組めます。								
授業計画 【第10回】	10. 子どもを支援する取組み⑧ 子どもの成長を支えるための行政の取組(都城市 保護者支援)から活動上を聞きながら、探求課題解決に取り組めます。								

授業計画 【第11回】	11. 子どもを支援する取組④ 子どもを支援する取組の計画についての話し合いをします。
授業計画 【第12回】	12. 子どもを支援する取組⑤ 子どもを支援する取組の計画について話し合い準備をします。
授業計画 【第13回】	13. 都城市議会議員とのワークショップ 子どもの成長を支えるための議会の取組(都城市議会)からその活動を聞きとともに、各自の取組について議員と意見交換に取り組む。
授業計画 【第14回】	14. 子どもを支援する取組⑤ 各自の取組について意見交換を行い、実践化への計画を策定する。
授業計画 【第15回】	15. まとめ 子どもを支援する取組についてまとめ、後期からの子ども支援地域活動での実践にたいする意欲を高め、最終報告書としてまとめる。
授業の到達目標	本授業を通して、次の3点について学び、それに関連した【知識・技能】【関心・意欲】を獲得する。 1. 子どもを育てる地域活動の役割とその実践例を学び、その活動を推進するための知識・スキルを身につける 2. 子どもの成長を促すための地域での取り組みを企画し、実践するスキルを身につける
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	子どもの成長を促すために行われている地域社会での取組を調べて、授業中のグループワークやプレゼンテーションにて説明できるよう、情報収集を行うようにしてください。さらに、授業の空き時間等を活用して、情報を収集した活動に積極的に参加してください(30分)。
授業時間外学習【復習】	子どもの成長を促すために行われている地域社会での取組を調べて、授業中のグループワークやプレゼンテーションにて説明できるよう振り返りシートにまとめてください。さらに、授業の空き時間等を活用して、情報を収集した活動に積極的に参加してください(60分)。
課題に対する フィードバック	レポートについては、返却時に解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 中間報告書 50点 2) 最終報告書 50点
テキスト	J. デューイ著、市村尚久(翻訳)『学校と社会・子どもとカリキュラム』講談社学術文庫、1998年12月
参考書	文部科学省『地域と学校の連携・共同の推進に向けた参考事例集』2016年4月 文部科学省『新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について』(中央教育審議会・答申)2015年12月
備考	